



目次	
●会長あいさつ	1
●副会長あいさつ	2
●本部役員紹介	3～4
●専門部活動紹介	5
●郡市教頭会ネットワーク	6
●新入会員の声	7
●随想	8



## みんながウエルビーイングな 学校を目指す教頭会

新潟県小中学校教頭会

会長 **大瀬 孝志**

(上越市立中郷小学校)

令和5年度新潟県小中学校教頭会の会長を務めさせていただくことになりました。会員の皆様のご支援とご協力をいただき、関係諸団体と連携を図りながら、子どもや地域、教職員などみんながウエルビーイングな学校づくりに貢献する教頭会を目指していきたいと考えています。

令和5年3月に中央教育審議会で「次期教育振興基本計画について(答申)」が出されました。その中で、「日本社会に根差したウエルビーイングの向上」が次期計画のコンセプトの1つとして挙げられています。

また新しい言葉に出会い、「ウエルビーイング」って何だろう?と調べてみますと、「自分の心や体の健康だけでなく、家族や友人、自分の住む街・国など周りのことも含めて、持続的に良い状態であること」のようです。なので、happinessの「幸せ」とは少し違い、SDGsにもつながるところがあるようです。

また、京都大学 内田由紀子教授の説明の中に、「ウエルビーイング」のとらえ方は、国や地域の文化によって違うとあります。日本的幸福から考えていくと、「他者とのバランス」「人並志向」「まわりまわって自分にも幸せがやってくる」という協調的幸福感ととらえられるようです。ちなみに、北米的幸福は、「個人の自由と選択」「自己価値の実現と自尊心」「競争の中でもまれる」「それらが翻って社会を豊かにする」という獲得的幸福感と説明されました。

では、「日本社会に根差したウエルビーイングの

向上」とは、多様な個人のそれぞれが幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会が幸せや豊かさを感じられるようにしていく必要があるのです。

学校現場では、今まで児童生徒の幸せを願うことが中心となってきました。しかし、ウエルビーイングの視点から考えると、児童生徒はもちろん、周りの保護者や地域、そして教職員も幸せになることが必要になってきます。

そうすると、児童生徒に対しては、「多様な教育ニーズへの対応」「多様性」「包摂性」「公正、公平」というキーワードが上がってきます。教職員に対しては、「働き方改革」「心理的な安全確保」「働きやすい職場環境」となるのでしょうか。教師を目指す学生が減る中で、若い教職員が増え、私たち教頭も若い方々が増えています。職場に新しく凛とした風が吹いてきている現在、教頭として教職員の育成は大切です。加えて、心と体の健康について配慮したり、職場環境の改善をしたりすることも重要なことであり、今後の課題になっていくでしょう。

今年度から新しくなった研究主題を受け、「自立」「協働」「創造」の資質や能力を備えた「夢や希望に向かって、他者とともに自ら未来を拓く子ども」の育成は、児童生徒だけでなく、地域や保護者のウエルビーイングにつながるものです。

教頭会として、常に会員相互の連携を図り、協力しながら取り組んでいきましょう。それが、子どもたちの幸せにつながり、まわりまわってウエルビーイングな学校づくりにもつながるはずです。



## 不断の進化

副会長 浅山 景  
(妙高市立斐太北小学校)

「目は口ほどに物を言う」ということわざがある。とは言え、相手の表情が読み取れず、意思疎通がうまくできなかったという経験は、誰しもあるのではないだろうか。「口元が緩む」「口をへの字に曲げる」などのことわざもある。マスクを外し口元が見えることで、より豊かな感情表現ができることを改めて実感した。

新型コロナウイルス感染拡大によって、GIGAスクール構想が一気に加速した。一人一台端末が整備され、端末の機能を生かして自他の考えの比較や意見交流が容易になった。また、物理的に難しかった国内外の学校との遠隔交流も行われるようになり、ここ数年で授業スタイルが大きく変わった。新型コロナウイルスが第5類になったとしても、教育活動は以前へと後戻りをしてはいけない。教育活動は社会情勢に合わせて、不断の進化を続ける必要がある。

いじめや不登校、働き方改革など、学校現場では種々の問題を抱えている。状況と背景を分析し、より方策を考え続けることが進化へとつながる。学校の進化の要たる教頭同士の学び合いの場となる教頭会を目指していきたい。



## 子どもと教師の「~したい」を実現する学校

副会長 渡辺 登  
(長岡市立表町小学校)

勤務校では「ホンモノ体験 × ICT活用」を軸とし、標記学校の実現を目指し、業務精選、効果の低い教育活動の見直しを全員で行っています。

### ①会議・職員集会の削減とペーパーレス化

職員会議を休業期に限りペーパーレスで4回のみとし、連絡事項は校務支援システムを活用し、連絡を目的とした職員集会は行わない。

### ②PTA活動のボランティア制への移行

必要な時に募集し、できる人がボランティアとして参加できるPTA組織とした。また、学校行事を

含めて土日の教育活動は実施していない。

### ③研究活動の推進と教育活動の見直し

「深い学びの実現」「個別最適化・協働」の視点から授業研究の推進、教育活動を随時見直している。教育の質向上の喜びを全職員で共有している。

今や学校現場の定額働かせ放題が世間に知れ渡り、教員養成系学生の「沈みゆく（学校現場という）泥船には乗りたくない」との発言がニュースで報道される始末です。われわれ教頭が学校現場を「希望の船」とするべく、皆様の「~したい」実現の後押しができる教頭会となるよう尽力して参ります。どうぞよろしく願いいたします。



## 「進化」

副会長 田中 俊彦  
(新潟市立南浜中学校)

今年度、下越地区代表として副会長を仰せつかりました。新潟県内679名の小・中教頭先生方のお役に少しでも立てるよう精進してまいります。

さて、変化の激しい予測困難な社会において、教育課題も山積となっております。当校では働き方改革のため、昨年度途中から時程の大幅な見直しを行いました。朝の会や帰りの会、清掃、ランチ・昼休みについて削れる部分はないか、教務主任や研究主任を中心に全職員で徹底的に見直しました。結果的に、放課後活動の時間をこれまでとほぼ同様に確保しながらも、17時25分（短縮授業の日は17時）完全下校とすることができました。これまでの当たり前を見直し、少しの工夫で大きな成果をあげています。年度途中の時程変更でしたが、「よいことは即実行する」という校長のリーダーシップも大きかったです。

県小中学校教頭会は58年の歴史があります。これまで諸先輩方が築き上げてきた会の伝統を守りながらも、時代の変化に対応できる組織に進化させるべく、微力ながら精一杯の知恵と行動力をもって任を果たしてまいります。皆様方のご支援とご協力をよろしく願い申し上げます。

# 令和5年度 本部役員紹介



幹事長 **新井 慎一**  
(上越市立清里小学校)

県教頭会の業務が円滑に進むように、微力ながら務めさせていただきます。コロナ対応が大きく変わる中、学校現場では確かなコンセプトの下、教育活動の創造が求められています。教頭の役割を果たし、「誰一人取り残さず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進」に、精一杯尽力して参ります。よろしくお願ひいたします。



中越庶務幹事 **高橋 雅和**  
(長岡市立千手小学校)

現任校は2回目の勤務となりました。8年ぶりの赴任でしたが、校舎の佇まいや窓から見える景色は前回の勤務の時と同じです。また、地域の皆さんの温かい心遣いも健在で素晴らしい地域だと感じます。コロナ禍で変わってしまったものも多いですが、変わらないものの良さも見出し、頑張ります。今後ともよろしくお願ひいたします。



会計幹事 **小林 克樹**  
(上越市立大瀧小学校)

コロナ緩和が進み、学校教育活動の制限緩和と感染症対策の両立に、皆様も腐心されていることと思います。勤務校では、創立150周年を迎える年にあたります。PTAや地域の方々が、こんなときだからこそと快く力を頂戴いたしているところです。教頭会の活動も、皆様の知恵と協力が必要です。よろしくお願ひいたします。



下越地区庶務幹事 **山下 信孝**  
(新潟市立大野小学校)

教頭という立場になり、改めて周りの人から支えられて学校は成り立っているということを実感しています。今年度から、庶務幹事として県教頭会の仕事を担うことになりました。県教頭会の皆様方のために精一杯努めてまいります。よろしくお願ひいたします。



上越地区庶務幹事 **亀山 亨**  
(上越市立大町小学校)

コロナ禍を経験し、改めて直接かかわるよさが認識され、以前のような教育活動が戻りつつあります。教頭会も顔を合わせる機会が増え、様々な情報や意見を交換・共有し合えることを願っています。今年度役員を仰せつかりました。上越地区教頭会の横のつながりが深まり、実り多い会運営となるよう、微力ではありますが連絡・調整役として尽力して参ります。ご協力をよろしくお願ひいたします。



下越地区庶務幹事 **川嶋 邦夫**  
(阿賀町立三川小学校)

勤務校の合い言葉は「アップデート」です。知徳体で児童がこれまでの自身を更新していく姿を求めています。その実現に向け、教職員と共に汗を流す日々です。この度、県教頭会の仕事を担うこととなりました。貴重な経験をさせていただける機会と捉え、私自身少しでも「アップデート」できるよう、精一杯取り組みます。よろしくお願ひいたします。

## 会計監査

小池克行	上越市立直江津中学校	室橋辰宏	新潟市立鎧郷小学校
宇佐美 崇	長岡市立川崎小学校		

## 理事

金子謙太郎	妙高市立新井中央小学校	草分智昭	魚沼市立小出小学校
澤田 隆	糸魚川市立青海小学校	山岸 健	南魚沼市立塩沢小学校
佐藤史人	新潟市立大通小学校	富樫 晃	阿賀野市立安田小学校
柳澤 淳	上越市立雄志中学校	力間博隆	柏崎市立第三中学校
渡辺元子	長岡市立宮内中学校	矢野武志	三条市立第三中学校
清野正康	新発田市立本丸中学校	金子幸弘	佐渡市立佐和田中学校

## 事務局

横田 誠	脇屋雅実
------	------

## 代議員

上越	渡邊洋臣	上越市立直江津東中学校
	炭谷倫子	上越市立南川小学校
柏崎・刈羽	桑原浩史	柏崎市立柏崎小学校
糸魚川	齋藤雅彦	糸魚川市立根知小学校
妙高	渡邊卓司	妙高市立新井小学校
長岡・三島	舘岡信也	長岡市立阪之上小学校
	涌井基之	長岡市立四郎丸小学校
三条	知野昌央	三条市立月岡小学校
小千谷	郷 正樹	小千谷市立小千谷小学校
加茂・南蒲	笠原 崇	加茂市立加茂小学校
十日町・中魚	若井義弘	十日町市立十日町小学校
見附	大田 克	見附市立見附中学校
魚沼	小野塚真郎	魚沼市立堀之内小学校
南魚沼	富士野幸子	南魚沼市立六日町小学校
燕・西蒲	笹川剛史	燕市立燕東小学校
新潟小	長谷川 靖	新潟市立根岸小学校
	逢坂一郎	新潟市立山潟小学校
新潟中	長谷川智明	新潟市立木戸中学校
	武樋伸明	新潟市立新津第一中学校
新発田・北蒲	藤原 明	新発田市立加治川中学校
村上・岩船	遠藤直人	村上市立瀬波小学校
五泉・東蒲	山口伸也	五泉市立五泉小学校
阿賀野	佐藤仁志	阿賀野市立水原小学校
佐渡小	土屋勝顧	佐渡市立両津小学校
佐渡中	金子幸弘	佐渡市立佐和田中学校
胎内	中野忠弘	胎内市立中条小学校



## 専門部活動紹介



### アンケート調査にご協力を

調査要請部長 八幡昌樹  
(新潟市立新通つばさ小学校)

今年度も「教頭の勤務実態調査」と「新潟県義務教育の振興に関する要望書作成のための調査」を行います。これらは、新潟県教育の進展に寄与するとともに、教頭の福利厚生・待遇改善を図るために行うものです。

令和4年度の報告を見ると、コロナ禍にあった3年間の勤務実態が分かります。「7時以前に出勤する割合が大きく増加した」「年々退勤時刻が遅くなってきている」どちらも働き方改革が言われる前の数値に戻っているようです。アフターコロナを迎えた今、ますます深刻になるのではと不安でなりません。

そんな状況を改善できるよう、厳しい勤務実態を関係機関に訴え、全国公立学校教頭会とも連携して、勤務条件の改善につなげていきたいと考えています。会員一人一人の声が大切になります。アンケート調査への皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



### 第59回新潟県小中学校教頭会研究大会の開催に向けて

研究部長 金子康太郎  
(新発田市立猿橋小学校)

今年度は、第13期全国統一研究主題「未来を切り拓く力を育む 魅力ある学校づくり」を受け、新潟県教頭会としてサブテーマ「夢や希望に向かい、他者とともに自ら未来を拓く子どもを育む学校づくり」(1年次)という研究の基本目標を設定しました。

昨年度は、長岡市三島郡教頭会が主管となり、「第58回研究大会」が全県オンラインで開催されました。

今年度の「第59回研究大会」は、10月27日に各ブロックで開催されます。昨年度の成果と課題を踏まえ、更なる「研究課題の焦点化」、「研究の協同性の充実」、「教頭の関与性の明確化」を目指し、学校教育に関わる様々な課題解決に寄与できるようにしていく必要があります。10月27日の研究大会は、互いの実践から学ぶことを通して、学校運営の力量を高めると共に、会員同士のつながりを深める機会にしたいと考えています。



### 情報発信を基に つながりを築く

広報部長 石口昇  
(上越市立和田小学校)

広報部では、県教頭会の活動方針や活動状況を発信することによって、本会に対する理解と協力をいただけるように努めます。また、郡市教頭会の取組や会員の皆様が考えていることなどを紹介し合うことで会員相互のつながりを築くことに貢献していきたいと考えています。

今年度の特集は「コミュニティースクールの取組紹介」及び「教頭自身の働き方改革」といたしました。現在の教育課題に対してどのような取組がなされているのか、有意義な情報を提供できるよう努めて参ります。

なお、会報の発行に際して、会員の皆様からは、原稿執筆等にご協力いただくこととなります。また、各郡市教頭会長の皆様からは、執筆者の選定や原稿の執筆依頼をお願いします。いずれもご多用のところ大変恐縮ですが、よろしくお願いいたします。



### 教育課題部の活動

教育課題部長 鳥島泰浩  
(長岡市立東中学校)

教育課題部は、県の重点教育課題を的確に把握し、その解決に向けどのように取り組むべきかを示唆し、具体的な対策・実践・結果の分析等、課題解決への推進役を担います。

教頭先生方は日々の激務に追われ、「他の教頭先生はどう考えているだろう」「どのような工夫をすればより良い学校運営ができるだろう」といった根本的な疑問に思いを馳せることもままならないのではないのでしょうか。取りまとめたアンケート結果や分析は、きっとお役に立つことと思います。ぜひ、ご覧いただきたいと思います。

アンケートには Google フォームを活用し、質問項目やレイアウトを一段とシンプルにして、会員の皆様が少しでも簡単に回答できるよう工夫しました。部員一同、みなさんの素晴らしい取組を一つでも多く紹介するとともに、お役に立てる情報をできるだけ多く提供できるよう精一杯努めてまいります。今年度もよろしくお願いいたします。

# 郡市教頭会ネットワーク



## 「教頭の働き方」を見直す

長岡市三島郡小・中・総合支援学校教頭会  
事務局 涌井基之  
(長岡市立四郎丸小学校)

長岡市三島郡小・中・総合支援学校教頭会は、合計83校、令和5年度は7名の新任教頭を迎え、84名でスタートしています。

### 1 組織

長岡市は、地域も広く会員数も比較的多いため、全体を6ブロックに分け、それぞれに調査要請委員会、厚生委員会、研修委員会を決めて活動をしています。各委員会はブロック内で1年ごとに交代し、3年ですべての委員会を経験することになっています。

### 2 研修の精選と充実

アフターコロナとなる令和5年度は、それまであった研修会を吟味・精査し、試行という形で年4回の研修を計画しています。3回は、教育長、管理指導主事、校長会より講師をお招きし、教頭としての資質・能力の向上、学校運営における教頭としての役割などについて学んでいきます。残りの1回は、例年学期末に行っていた全体研修会を10月27日実施の中越ブロック研究大会への参加に代えました。学期末の繁忙期に学校をなるべく空けないことで教頭の働き方の改善を目指しています。同様の考え方で例年7～8月に実施していたブロック別研修会も休止しました。例年よりも2回少ない研修会ですが、その分充実したものになるよう準備を進めています。

### 3 会員相互のネットワークの拡大

一方で年2回の懇親会（歓迎会・反省慰労会）を復活させました。5月に行った歓迎会では、市内に転入した23名（新任者含む）、3名の管理指導主事を交え、3年ぶりとなる歓迎会を開催し、親睦を深めることができました。さまざまな学校課題に対応するためには、教頭の横のつながりが重要です。気さくに情報交換することで、教頭の在校時間を少しでも減らすことができるよう、教頭会として取組を進めて参ります。



## 佐渡市中学校教頭会が 大事にしているもの

佐渡市中学校教頭会  
会長 引野 太  
(佐渡市立相川中学校)

佐渡市中学校教頭会は、中学校12校、中等教育学校1校の計13名の会員で構成されています。

今年度は、会員の約半数を新任会員が占め、大変フレッシュな顔ぶれとなりました。また、中には島外から赴任してきた会員もいるため、今年度は特に、「研修」の質的向上と「情報交換」の場を大切にしながら、「参加してよかった」、「勉強になった」と思ってもらえるような運営を行っていきたいと考えています。

### 1 一人一人のニーズに応える研修会

当会では、年間7回の研修会を計画し、内容も会員のニーズに応じた研修を研修部が中心となって企画しています。例えば、「危機管理研修会」「小中教頭会合同研修会」「校長先生を招いての講演会」等です。特に、「小中教頭会合同研修会」では、年2回の小学校教頭会と合同で研修を行うことで、視野を広げる貴重な研修の場となっています。また、「校長先生を招いての講演会」は、教頭時代の経験談や教頭として心掛けること等について、直接お話を伺えるよい機会となっています。

### 2 気軽に相談できる情報交換会

各研修会の最後に、情報交換の時間を設定しています。教頭は各校一人のため、新任会員だけではなく全会員にとって、普段困っていることを気軽に相談したり、他校の情報等を入手できたりするなど、大変有意義な時間となっています。そのため、研修会以外の時でも、電話やネットワークの回覧板等を活用して、いつでも、だれとでも気軽に連絡や相談ができる関係ができており、そこが、当会の一番の強みだと考えています。

最後に、会員一人一人が佐渡市の教育の発展のために、自信をもって教頭職を全うできるように研修の質を高め、また、横のつながりをさらに強化し、成長し続ける佐渡市中学校教頭会を目指していきたいと考えています。



## いつか支える人に

上越市立戸野目小学校

中川 知己

教頭として赴任して3か月。残念ながら、ここまでは「教頭先生」と呼ばれるにふさわしい仕事ぶりではなかったと、自己評価しています。

そんな私ですが、慌ただしく過ごす日々の中で、身に染みて感じたことがあります。それは、自分が多くの人に支えられているということです。私の質問や相談に、いつも丁寧に対応していただいた校長先生や教職員の皆さんには感謝しかありません。

また、教頭になり、今まで以上によく見えるようになったことがあります。それは、学校の充実した教育活動は、多くの人や組織に支えられて成立しているということです。

今後も、自分の役割と責任を自覚し、様々なつながりを大切にしながら、精一杯努めていきます。そして、いつか教頭として多くの人や学校を支えられるようになりたいと、強く思っています。



## 「自分の感受性くらい」

新潟市立両川小学校

小野 樹

「初心消えかかるのを 暮しのせいにはするな  
そもそもが ひよわな志にすぎなかった  
駄目なことの一切を 時代のせいにはするな  
わずかに光る尊厳の放棄

自分の感受性くらい 自分で守れ (略)」

詩人である茨木のり子さんのこの詩が好きで (タイトルもこの詩のものです)、時折唱えては、自分を奮い立たせています。

教頭になって数ヶ月。校長を補佐すること、子どもたちの笑顔や教職員の健康を守ること、保護者や地域とのつながりを大切にすること。責任の重さを痛感すると同時にやりがいを感じる日々を過

ごしています。「視れども見えず」「聴けども聞こえず」とならないよう、日々、感受性を高め、行動にうつす教頭でありたいと思います。

ご指導、よろしくお願ひいたします。



## 「一歩前へ」

小千谷市立東山小学校

富樫 亜紀

東山小学校は、角突き牛「牛太郎」を飼育し、伝統行事である「牛の角突き」にも参加しています。また、錦鯉発祥の地であり、養鯉が地域の主産業となっており、文化と歴史、伝統が豊かな特色ある地域です。

郷土の重要な伝統文化に深く関わり、郷土を誇りに思う子どもたち、そして子どもたちのために協力を惜しまない地域や保護者の方々に感謝するとともに、学校と地域が強く結び付いていることを感じます。

素晴らしい環境の中で、教頭としての一歩を踏み出せたことをとてもありがたく思っています。それと同時に、教頭としての責務の重さに、毎日身が引き締まる思いです。仕事に追われる毎日ですが、地域の宝である子どもたちの笑顔のために、地域・保護者とつながり、誠実な対応を心掛け、一歩ずつ前へ前進し続けたいです。



## 子ども・職員・ 地域のために

佐渡市立行谷小学校

猪股 快門

前年度の3月31日。私は、前任校の仕事が終わらず、夜桜を見ながら後ろ髪をひかれる思いで学校を去った。たった1日後の4月1日。立場が、劇的に変わった瞬間。いても立ってもおられず、休みの日だったが、着任校を訪れた。青空の元、桜のピンクがまぶしく見え、金北山がバックに控える校舎の姿は、まるで自分に「がんばれよ」と応援してくれているように感じられた。私は、この素晴らしい環境の下、学校のため、そして地域のため、職員のために尽力したいと決意した。

着任すると、多くの方から激励のはがきを頂いた。その中で、激務が続くので「健康に留意して」という文言が多数あった。教頭になってその言葉が身に染みている。健康な体はすべてのパワーの源だ。

これから未知なる出来事がたくさん起こるはずである。先輩方から知恵やご指導をいただきたい。

# 随 想



## 子どもたちを 中心に据えて

妙高市立妙高小学校

長 澤 虎 幸

現在、息子が通う中学校の男子バレー部の外部指導員をしている。先週末、地区のバレー協会が主催する日本体育大学との合同練習会に参加した。日体大男子バレー部は、全日本で活躍する高橋藍選手やU-20日本代表選手が所属する強豪チームである。

練習会には、中高生約100人が参加した。この人数が同時に、しかも経験や技術、年齢の差がある中でどうやって練習するのか想像できなかった。当日は、グループに分かれ、大学生が子どもたち一人一人にコミュニケーションをとりながら丁寧に指導されていた。また紅白戦では、目の前で繰り広げられるトップレベルのプレーに胸がときめき、体が熱くなった。理論に裏付けられた確かな言葉掛けやプレーに触れて、子どもたちは技術的にも精神的にも大きく成長した。帰宅する車の中、普段あまりしゃべらない息子が興奮しながら一日を振り返っていた。きっと心に残る忘れられない経験になったのだろう。

現在、部活動の地域移行が進められている。我々は、教職員の働き方改革のうねりを止めてはならない。そのとき子どもたちを中心に据えることも決して忘れてはならない。子どもたちが夢中になって生活できる環境・体制づくりに向け、社会全体で、自分自身で、できることを一つずつ積み重ねていきたい。



## 周年行事を通して

見附市立名木野小学校

金 井 淳

「子どもたち自身が創り上げる、子どもたちが主役の記念式典にしよう！」

昨年度4月の創立150周年記念事業実行委員会時に、実行委員の皆さんから寄せられた言葉や思い。異動したばかりの私は、実行委員の方々の熱量に圧倒されるとともに、実現に向けての自分の役割を知った。

実行委員会の願いや思いを受けて、6年生を中心にした運営プロジェクトが立ち上がり、当日のプログラムや役割等が子どもたちと先生たちで形づくられていった。また、各学年が、学校の歴史や伝統、地域のよさ等に関わる学習に取り組んでいった。その中で、実行委員が参加し、一緒に考えたり、それぞれの経験や知識、想いを伝えたりすることもあった。

11月5日記念式典当日。子どもたちの進行で式典は進んでいく。各学年が、学習したことや練習してきたことを生き生きと表現していく。実行委員も、それぞれの役割で子どもたちをサポートする。実行委員会が目指してきた子どもたちの姿が実現した素晴らしい記念式典となった。

周年行事を進める中で、学校や子どもたちに対する地域、保護者、これまで関わってきた人たちの想いに触れ、改めて学校が地域の中で重要な場所であることに気付かされた。その場所に今いられることに感謝しながら、これからも地域とともに歩む学校づくりに尽力していきたい。

### 令和5年度 各種大会日程

- 1 全国公立学校教頭会研究大会石川大会 8月3日(木)4日(金)
- 2 第59回新潟県小中学校教頭会研究大会  
第14回ブロック別研究大会 10月27日(金)  
第64回関東甲信越地区公立学校教頭会研究大会東京大会  
11月16日(木)17日(金)
- 3 令和5年度 中央研修大会 2月9日(金) オンライン開催(代表参加)、  
ビデオ自主研修(全員参加)[後日]

新潟県小中学校教頭会  
[事務局]  
県教頭会ホームページ  
全国公立教頭会ホームページ

〒950-0911 新潟市中央区笹口2丁目7-17 和田ビル2F  
E-mail n-kyotoh@crest.ocn.ne.jp TEL (025) 244-8225  
https://www.niigata-kyotokai.jp/ FAX (025) 244-5060  
http://www.kyotokai.jp/